

平成 26 年 1 月 17 日

日本共産党池田支部長

山本 久子 様

日本共産党池田町議員団

服部 久子 様

薄井 孝彦 様

池田町長 勝山 隆之

2014年度池田町予算要望書の回答について

平成 25 年 12 月 3 日付の要望書について、別紙のとおり回答します。

回答書

I 予算関係について

1. 在宅で家族を介護している方への介護慰労金支給制度を復活してください。

【回答】財政状況等を見ながら、検討いたします。

2. 「小規模多機能型居宅介護事業所 おひさまの家」の運営が軌道にのるまで町として助成措置を行ってください。

【回答】民間の1事業所でありますので、町から助成することは考えておりません。

3. 住宅リフォーム促進事業補助金制度を継続してください。また、補助対象工事に塀・門扉工事、車庫・倉庫工事も加えてください。特に、防災上の観点から塀の耐震化工事を優先してください。

【回答】今後3月までの間における申請件数及び執行額並びに、商工会よりの調査報告を総合して、平成26年度予算編成中に結論を出してまいります。予算編成の概略は2月上旬に作成できますが、継続となれば、3月議会での新年度予算議決並びに、要綱改正後に町民の皆様へ再度告知をさせていただきます。

○仮に制度延長となった場合

当町のリフォーム事業は居住可能住宅に対し快適な環境を提供することを目的としておりますので、外構工事等については、補助金の対象とはしない現行の要綱を適用いたします。尚、塀の耐震化については、リフォーム事業とは別区分と考えております。従いまして、近々の制度制定は考えておりません。

4. 若者定住促進を進めるため、既に“あゆみ野住宅地”への助成措置はありますが、若者定住助成事業（家賃補助、住宅取得助成金など）を新設してください。

【回答】「若者定住促進助成制度」の制定については、当面計画はございませんが、人口増対策の課題は、当町の重要な課題の一つであります。今後も広い視野を持ち、庁内外各部署関係官庁との連絡調整を行いながら、研究を重ねて参ります。

II 予算以外の項目について

1. 福祉関係

- 1) 高齢者や障がい者が利用しやすい「交通システム」を検討し、整備してください。

【回答】福祉課以外の部署と連携して、検討したい。

2) 町として「ひきこもり者の実態調査」を行い、対策を検討してください。
【回答】非常に難しい調査であり、現在のところ町として調査することは考えておりません。

3) 県に次の意見を上げてください。

① 福祉医療を窓口無料化してください。

【回答】町独自では実施できないので、要望を県に上げていきます。

4) 北アルプス広域連合に次の意見を上げてください。

① 特別養護老人ホームへの入所希望者が増えていますので、解決できるよう北アルプス広域連合に働きかけてください。

【回答】来年度松川村に定員60名、ショート10名の特別養護老人ホームが開所予定であります。また、来年度は第6期介護保険計画策定年度になりますので、現在実施中の「高齢者等実態調査」結果等を基に十分に協議をします。

2. 子ども・教育関係

1) 未就園の子どもや幼児が遊ぶ屋内・屋外施設を社会資本総合整備計画で設置してください。

【回答】地域交流センター建設にあたり、建設検討委員会（仮称）で子どもからお年寄りが集まり、楽しく話したり、遊べる場所の検討をして行きたいと考えます。

2) 池田松川学校給食センターでの食材の放射能検査を給食提供の前日に行ってください。

【回答】測定器の使用については、現段階では県及び他町村の情報を確認しながら、原発など放射能環境に変化があり即対応しなければならない場合や、中信教育事務所の機器が使用できない場合を基本に対応していきたいと考えています。

3) 就学援助で下記項目を実現してください。

① 生活保護費の切り下げが就学援助の対象児童減につながらないように、就学援助の基準数値を生活保護費の1.5倍にしてください。

【回答】平成26年度から就学援助費の支給要綱を改正し、生活保護世帯の収入額需要額の1.5倍にまいります。

② 国の補助対象項目で実施していない下記の項目を加えてください。

・通学費 ・クラブ活動費 ・生徒会費 ・PTA会費

【回答】現在のところ考えていません。今後近隣市町村の動向を見守って行きます。

③ 眼鏡補助を補助対象項目に加えてください。

【回答】現在のところ考えていません。今後近隣市町村の動向を見守って行きます。

3. 産業振興・環境保全関係

1) 米の減反政策中止・T P Pに対応し、田園風景の保全に資する池田町の農業振興対策の検討を進めてください。特に、有機農業の推進し、米・野菜などのブランド化に指導的役割を果たしてください。

【回答】国・県の農業政策を見極めながら、池田町の農業振興策について営農支援センター、農業再生協議会で来春より検討を行います。ブランド化につきましては取り組む人を支援していきたいと思えます。

2) 松くい虫被害木は早く処理し、広葉樹などへの樹種転換を進めてください。

【回答】松くい虫被害の状況は年を追うごとに増加の一途を辿っています。大北地域における被害対策指針として、池田町の大部分の区域が伐倒駆除から、樹種転換、間伐による対策へと変わり、今後は指針に沿った対策を進めていきます。

3) 自然エネルギーの活用に取り組んで下さい。特に、農業用水を利用した小水力発電の促進、公共施設に太陽光発電を設置してください。

【回答】平成24年度に県の補助金を受け、小水力の調査をいたしました。その結果は満足できるものではありませんでした。今後は、信州大学工学部池田敏彦教授等の支援をいただき小水力発電について調査・研究をする中で検討をしていきたいと思えます。また、売電目的の「屋根貸し」につきましては、話が持ち込まれまた段階で検討いたします。また、自己消費型のタイプにつきましては、役場庁舎に設置したシステムのデータを分析する中で検討していきます。

4. 防災対策関係

1) 大雨・豪雨災害として考えられる東山土砂災害及び高瀬川・内川水害を想定し、時系列で実施すべき行動計画（三重県紀宝町で始めた“タイムライン”）を策定し、予行訓練を実施してください。

また、災害発生区域に避難施設があるので、池田保育園、総合体育館など新たな施設も含めて避難施設の見直しを行ってください。

【回答】タイムラインの仕組み（ゲリラ豪雨対応含）について、まずは調査・研究を考えたいと思えます。避難施設については、豪雨が続いた場合、水害と土砂災害の両面からの被害が想定されますので、状況を判断し、安全な場所に誘導する方法が必要と考えており、町としてはあらかじめ避難所の特定をせず、確保されている避難所の周知に努めます。

2) 高瀬川水系のダム崩壊にともなう水害シミュレーションを関連市町村で(株)東京電力・国土交通省北陸地方整備局大町ダム管理所に作成させ、避難対策を検討、確立してください。

【回答】国土交通省北陸地方整備局では、大地震に対してのダムの安全性は問題ないとしています。従ってダム崩壊に伴います水害シミュレーションは想定しておりません。ダムに関する放流等の情報につきましては、従来どおり、連携を密にした体制維持に努めてまいります。

3) 高瀬川関連市町村で(株)東京電力・国土交通省北陸地方整備局大町ダム管理所に高瀬川3ダムに関するデータ提出させ、第三者の専門家に委託して検討・調査し、起こりうる災害と対策を明らかにしてください。

【回答】考えておりません。